

〈本郷キャンパス〉
学校法人文京学園
文京学院大学経営学部・外国語学部・
保健医療技術学部／大学院／文京学院
大学生涯学習センター
〒113-8668 東京都文京区向丘1-19-1
☎大 03-3814-1661 生涯 03-5684-4816
文京学院大学文京幼稚園
〒113-0023 東京都文京区向丘2-4-1
☎幼 03-3813-3771

〈ふじみ野キャンパス〉
文京学院大学人間学部・保健医療技術学部
／大学院／文京学院大学ふじみ野幼稚園
〒356-8533 埼玉県ふじみ野市龜久保1196
☎大 049-261-6488 幼 049-262-3806
〈駒込キャンパス〉
文京学院大学女子高等学校／文京学院
大学女子中学校
〒113-8667 文京区本駒込6-18-3
☎03-3946-5301



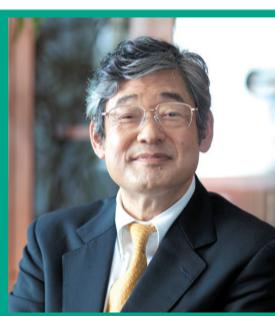
平成27年(2015年)
新春特別号
第704号
発行
学校法人文京学園
<http://bgu.ac.jp>

創立者・島田依史子先生は こよなく富士山を愛しました。



写真提供=株式会社ディア

100周年に向けて



文京学院大学学長
川邊信雄

明けましておめでとうござい
ます。皆さまには、すがすがし
い新年をお迎え
申しあげます。

世界的にはこうした変動
の年でしたが、本学にとり
ましてはまた、大きな意味
を持つ年になりました。何
のこととお慶び

昨年は、世界が揺れ動いた1年でした。冷戦の再来
かとおもれたクリミア危
機「イスラム国」の台頭や
中東での戦争の激化、そし
てアフリカで流行したエボ
ラ出血熱、さらには東南ア
ジアの風土病といわれるデ
ング熱の日本での発生など、
立され、約50年の歴史を

一方で、1964年に設

立された、本学の高等教育の囁

きが掲げられています。教育

で、「誠実」「勤勉」「仁愛」

と、校訓として開校し

ました。また、校訓とし

るために、本学園が歩

んできた90年を振り返り

ています。

本学は、関東大震災が起

こった半年後の1924年

春に、創立者の島田依史子

先生によつて、「自立と共生

を建学の精神として開校し

ました。

そのために、本学園が歩

んできた90年を振り返り

ています。

そのために、本学園が歩

んできた90年を振り

キャリアてっぴんフォーラム

先輩たちが活きた情報を発信

厳しい就職戦線を勝ち抜き、今、社会人として輝いている卒業生と、内定を獲得した4年生が、後輩に向けて活きた情報を発信する「キャリアてっぴんフォーラム」。今年も12月に、ふじみ野・本郷両キャンパスで開催されました。どの発表も体験を踏まえた上の示唆に富む内容で、出席した学生たちは熱心に聴き入りました。

講評は、ふじみ野キャンバスでは、人間学部キャリア委員長の寺島拓幸准教授が、本郷キャンバスでは、キャリア戦略会議委員長の西村信勝教授が行い、発表者と学生にエールを送りました。

12月3日 「ふじみ野キャンバス」

株式会社モスフードサービス／佐野俊明さん
(2009年 共生社会学科卒業)

佐野さんは現在、羽田空港の「モスカフェ」店長として勤務。学生時代、「自分が一番したいことは何か」「求める幸せは何か」などを常に自分に問いかながら、「それらを具体的にどの仕事で実現していくか」を考えました。明確なライフプラン、キャリアプランを企業側に大きくアピールし、内定を3社取りました。その中で同社を選んだ佐野さんの話は、後輩たちの心を揺り動かし、誰もが真剣に聴き入りました。

みずほ証券株式会社／佐藤かなみさん
(2010年 心理学科卒業)

佐藤さんは、心理学科で学ぶうちに「仮説を立てて実証する」という統計学の考え方を身につけ、その知識を現在フルに活用しています。外部のビジネス統計学セミナーを受講しましたが、内容は学生時代に既に学んだことでした。本来、高齢な講義を、在学中に授業として学べたことは貴重な学びであったことを実感。学生時代は点であつたことが、社会に出て線になることがあるので、学生時代の学びにはないということを伝えました。

トヨタカローラ群馬株式会社／曾根美穂さん
(2012年 児童発達学科卒業)

多くの仲間が保育の世界へと進む中、曾根さんは「ひとりの相手と永く関わる」という強い希望を持ち、車の購入者を末永くフォローできる同社を選びました。児童発達学科での保育園・幼稚園実習を通じて、子どもの変化にすぐに気付けるようになり、現在はそれが顧客対応に上手に活かせています。後輩には「就活において絶対に譲れない軸を持つことの大切さ」を伝えました。自分を信頼してくれる顧客の期待に応えて、トップセールスを目指しています。

株式会社アドバンスト・メディア／森田葵さん
(2012年 人間福祉学科卒業)

同社は、声を発することで、言葉が電子カルテなどに自動的に入力される音声認識エンジンを開発。森田さんは同社の営業として病院を回り、この機械を販売しています。「ドクターたちから頼られることが何よりもうれしい」と笑顔。森田さんが学生時代から意識していたことは、社会では意見が対立する相手、性格的に合わない相手などとも協働していく必要があるため、誰にでも対応できる柔軟性や、困難に対する抵抗力をつけていくことでした。

同フォーラムの学生実行委員長を務めた八坂真奈美さん（コミュニケーション社会学科2年）は、「1年生委員の野原万伊子さん（心理学科）と田中稀衣さん（同）の司会ぶりが見事でした。先輩方も、後輩の為に貴重なプレゼンをしてくださいり、とても有意義な時間を過ごせました。1、2年生の参加が少なかったことを課題として次年度に引継ぎ、より良いフォーラムにしてほしいと思います」と達成感を滲ませました。

12月10日 「本郷キャンバス」

通信／加藤篤紀さん
(外国語学部4年／西村信勝ゼミ「無駄のない就活を！」)



1年次から英語学習に力を入れて留学も経験した加藤さんは、3年次の5月に帰国したことから、就職戦線へのスタートが遅れました。そこで「英語と世界」をキーワードに、グローバル企業3社にエントリー。早くも2ヶ月後には内定を獲得しました。その体験は、就活を乗り切るために大切なポイントは「効率性」「N.O.1、オンラインの自分のストーリー」「誠実さ」であることを強調しました。

航空会社／清水万由さん
(外国語学部4年／千葉隆一ゼミ「努力は人を裏切らない！」)



1年次から、まさにグローバル舞台で活躍する人材にとどめられる21世紀型能力と言えます。これまで多くの人材を世に送り出してきたことが明記されています。

文京がいち早く21世紀型能力の育成に目を向け、この生きる」（富山房インター

ターナシヨナル刊）には、

版された「グローバル

に学び、グローバルに

生きる」（富山房イン

ターナシヨナル刊）には、

生きる」（富山房イン

